

**本邦初：ストレスによる企業のコスト損失額は、高ストレス者  
一人当たり 150 万円に達する可能性があることが判明  
～高ストレスが会社経営に与えるインパクトを独自調査により発表～**

行動科学と IT を軸に医療・健康サービスを提供するユナイテッド・ヘルスコミュニケーション株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：白瀧康人 <https://www.uhc.jp/>）は、この度、独自に行った調査の結果、従業員が抱えるストレスによって企業が失う潜在的なコストを発表しました。

過去 2 年間合計 10 社、約 5,000 人に対して行ったストレスチェックの結果を基に算出したところ、高ストレス者一人当たり、最大 150 万円、従業員数 1,000 名あたり最大 6,700 万円の損失を生んでいる可能性がある事が、当調査結果より示唆されました。

この調査結果から、ストレスが与える企業への損失が改めて浮き彫りとなり、ストレスチェックの義務化に伴う企業のメンタルヘルス対策の益々の進展が期待されます。

ユナイテッド・ヘルスコミュニケーション株式会社 代表取締役社長の白瀧康人は、今回の調査結果について次のように述べています。「メンタル不調は企業に大きな損失をもたらす事になり、企業経営にとってもストレスは重要な問題であり、積極的な取り組みが望まれます。」

**【調査概要・推定値算出方法】**

- ・調査対象企業数：10 社
- ・調査対象企業の従業員数：約 5,000 人
- ・調査期間：2017 年 7 月～2018 年 1 月
- ・調査方法：当社ストレスチェック導入先企業においてインターネットを用いたストレスチェック調査

ユナイテッド・ヘルスコミュニケーション株式会社が提供するストレスチェックは、先行研究を参考に開発したプレゼンティイズム<sup>①</sup>、アブセンティイズム<sup>②</sup>の 2 つの評価尺度を設問に取り入れています。当尺度より、年間での労働日数の損失日数を算出し、その労働損失日数に、国税庁が発表する平均給与支給額を乗じて企業におけるストレスが原因と思われる損失額を算出しました。

- 1) プレゼンティイズム：出勤しているにも関わらず、心身の健康上の問題により、  
十分なパフォーマンスが上がらない状態
- 2) アブセンティイズム：欠勤や休職、あるいは遅刻早退など、職場にいたることができず、  
業務に就けない状態

以下の設問項目より、年間の勤務日数より、損失した勤務日数を推計。

プレゼンティーズム	アブセンティーズム
「病気やけががないときに発揮できる仕事の出来を100%として、過去4週間のあなたの仕事を評価してください」	「昨年1年間に自分の病気で何日仕事を休みましたか」
1 81%~100% 2 61~80% 3 41~60% 4 40%以下	1:0日 2:1~10日 3:11日~30日 4:31日以上
$\frac{(2\text{の人数}) * 0.2 + (3\text{の人数}) * 0.4 + (4\text{の人数}) * 0.6}{\text{全体}(1, 2, 3, 4)\text{の人数}} = \text{平均プレゼンティーズム率}$	$\frac{(2\text{の人数}) * 5 + (3\text{の人数}) * 20 + (4\text{の人数}) * 30}{\text{全体}(1, 2, 3, 4)\text{の人数}} = \text{平均アブセンティーズム日数}$
$\text{平均プレゼンティーズム率} * \text{平均給与} = \text{一人当たりプレゼンティーズム損失額}$	$\text{平均給与} / 240 * \text{平均アブセンティーズム日数} = \text{一人当たりアブセンティーズム損失額}$
*選択肢の大きい方の値(2でいうところの80%)のパフォーマンスを発揮できたとみなしています。	*推定の年間勤務日です。

一人当たりプレゼンティーズム損失額 + 一人当たりアブセンティーズム損失額  
 = 一人当たり損失額

損失額の推計値として、国税庁が出している平成 28 年度の平均給与額 422 万円を参考にしました。当平均給与額を計算しやすいよう年収 400 万円とし、年間勤務日数を平均 240 日で除し、1 日当たりの平均給与額を算出。

プレゼンティーズムでの損失日数×1日当たりの平均給与額+アブセンティーズム日数×1日当たりの平均給与額の計算式により、1 従業員あたりの平均損失額を算出。

#### ■算出結果

	構成比率 (一般的な企業の 平均値)	プレゼンティーズムによる 推定損失額 (年間)	アブセンティーズムによる 推定損失額 (年間)	推定損失額合計 (年間)
健康な人	90%	60万円	7万円	67万円
高ストレス者	8%	109万円	9万円	118万円
超高ストレス者	2%	139万円	11万円	150万円

\*高ストレス者：厚生労働省職業性ストレス簡易調査票基準の上位 10%に該当する者

\*超高ストレス者：厚生労働省職業性ストレス簡易調査票基準の高ストレス者 10%の中で、さらにストレスレベルの高い上位 3%程度に該当する者

当調査における監修者で、本邦におけるストレスマネジメント分野の研究の第一人者である、久留米大学文学部心理学科の津田彰教授は次のように述べています。「ストレスの影響は日々の生活の中で少しずつ蓄積していくものです。過度なストレス状態にある従業員が、企業にとってどれほどマイナスな影響があるのかについて理解を深める上で参考になるデータです。」

## 【ユナイテッド・ヘルスコミュニケーション株式会社について】

ユナイテッド・ヘルスコミュニケーションは、アカデミックな知見やノウハウを最大限に活かし、人の行動を科学する力と、IT の組み合わせによって、ヘルスケア分野の変革にチャレンジする企業です。人の健康を考えサポートする専門家集団として、これまでに蓄積してきた専門性の高い技術を常に更新し、顧客・パートナー・従業員・アドバイザー等から幅広く学び、環境変化や顧客ニーズに柔軟に対応できるサービスを提供しています。

### 【会社概要】

会社名： ユナイテッド・ヘルスコミュニケーション株式会社  
代表者名： 白瀧 康人  
所在地： 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 10-16 日本橋 KK ビル 2F  
連絡先： TEL : 03-6661-1154 FAX 03-6661-1890  
ホームページ： <https://www.uhc.jp/>  
従業員数： 8名  
設立： 2013年11月1日

### 【事業内容】

1. 行動科学に基づくエビデンスベースの患者サポートサービス/一般生活者向け健康増進サービスの開発運営
2. ストレスチェックシステム ASP サービスの提供
3. 医療従事者向け情報提供サービスの開発運営
4. 自然語処理、機械学習技術を活用したヘルスケア分野での IT サービスの開発運営

## 【サービス概要】

### 製薬企業向け事業

服薬継続支援（服薬アドヒアランス）・治療継続支援プログラムの企画開発・運営  
医療従事者向け教育コンテンツ企画・制作

### 健康増進事業

企業の従業員向けストレスチェック導入・運用支援  
企業の採用時・研修時のストレス耐性診断サービス

本件に関する問い合わせ先：

ユナイテッド・ヘルスコミュニケーション株式会社 TEL：03-6661-1154 FAX：03-6661-1890

e-mail：[wity@uhc.jp](mailto:wity@uhc.jp) 担当：後藤

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10-16 日本橋KKビル2F